

単元	六年 「たのしみは」
氏名	年組番
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;"></div>	

○ 短歌の基本ルールを完成させましょう。() に当てはまる言葉を、
から選んで、記号を書きましよう。同じ記号を何度使ってもかまいません。

【短歌を作るときの基本ルール】

- ① 短歌は、五・()・()・()・七・() ()の() ()音からできている。
- ② 小さな「つ」やのばす音、「ん」も、一音と数えます。
 しょっき ↓ () 音 おとうさん ↓ () 音
 へんじ ↓ () 音 たのしみは ↓ () 音

ア三 イ四 ウ五 エ七 オ九 カ十七 キ三十一

○ 次の三つの短歌を完成させましょう。歌の意味と短歌の基本のルールをもとに、
から適切な言葉を選び、() () に記号を書きましよう。

たのしみは妻子むつまじくうちつどひ

- () () 物をくふ時
- () ()

私が楽しみとするのは、妻や子どもたちと仲よく集まり、並んでいっしょに何かを食べるときだ。

たのしみは昼寝目ざむる ()
ことごと湯の煮えてある時

() ()

私が楽しみとするのは、昼寝から目覚めると、枕元の火ばちにかけた鉄瓶の湯が「ト」で音を立ててくるはまだ。

たのしみは朝おきいでて ()

- () () 咲ける見る時
- () ()

私が楽しみとするのは、朝起きて庭に目をやると、昨日まで咲いていなかった花が、美しく咲いているのを見るときだ

- ア 昨日まで
- イ 枕べに
- ウ 最初の日
- エ 頭ならべて
- オ 二人同時に
- カ 無かりし花の

チャレンジシート② ジャンプ

学習日 年 月 日

六年 「たのしみは」	単 元	氏 名	年 組 番	7問

○ 例を参考にして、「たのしみは・・・時」の形で、短歌を作りましょう。

五音

七音

五音

(例) たのしみは けんかの後の 仲直り

七音

七音

二人同時に 笑いあう時

正木 奈々

たのしみは

時

○ 「たのしみは」だけでなく、「喜びは」「感動は」「悲しみは」などに変えて、短歌を作ってみましょう。

は、

時

は、

時